長有
常有公家
後四

崇大門屋敷

図絵

鞍
ち
ろ
ぶ
ぶ

海ちゝ腰元三人ゞ
河ちゝ土六唐十ちゝつぶ
墨ちゝ土唐つぶ丸肉
賢ちゝ福海ぬ海ちゝ

男色指分論

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宗大門[illegible]

初[illegible]子[illegible]

[illegible]十六[illegible]十九[illegible]

[illegible]祖母[illegible]海[illegible]

[illegible]丘悦山の門人[illegible]禅

[illegible]禅[illegible]明[illegible]絶[illegible]迷悟の門と開く

[illegible]恩愛[illegible]執[illegible]海[illegible]

[illegible]

[illegible]十九の[illegible]

[illegible]柳[illegible]

梅はるひつく雪所のまつばめ枝ゆゝしき黄色女郎花
はるゝもとゝもとゝもんとゝとゝび小鄙こゝろたゝさよかつげ下こ
里よ雪はる遠なく〳〵ゝろ〳〵と脇つきゝ浦さ祈をつま寝と
二雪はる書文入は蓋五月く〳〵ゝ意まは程と浦ゝゝ程寝の
梅多紙よにゝびはなとゝゝ俳諧よ雪月浦見つひゝといろ
はゝとゆゝゝゝよ祈ひゝゝばゝ祈みいゝゝゝ
みゝゝゝびいゝゝ晩えつひはめよ浦らゝとお浦中のはゝ浦
まひゝゝ人は代中氣毋ゝ月文はひゝ
ゝゝ月ゝ家とゝ雪ゝ人会縁のはゝゝゝゝと意よはけは
なゝゝ毒浦ゝ初意はいゝけなゝはゝゝ俳はは十六夜十
みゝ祈ひはゝゝのゝゝちゝゝはゝ
はひはゝゝのはゝ祈ゝはゝゝゝ
はゝゝゝはゝゝ俳諧祭山はは

かゝゝゝと初寝のゝゝゝゝゝゝ刹那のはゝゝ
ゝゝなはゝゝはゝゝゝゝは初細深本神毋は能はゝ力
にはゝと初ひゝひゝゝゝ
ゝなゝゝゝゝ一言ゝゝひゝゝゝゝ
はゝゝけと毒一十ゝはゝ家へ毋ゝ初浦ゝゝ意ゝ
ゝ風よ悪ゝはみゝは俳よ腹痛毋ゝゝゝ祈ゝ
と初ひは祈日程毋ゝゝゝゝ
なゝ毋をゝゝゝ二深へゝゝ意ゝゝゝ
ゝ夜と一意は祈ひは毋ゝゝゝゝ
はゝ俳諧はは毋ゝゝゝゝゝゝゝ
二深へゝゝはゝゝゝゝゝゝゝゝ
はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

かいぐ仕舞をとりまぐとなをハこちらよのもうて二ちいへとゆ太て
とをれおつよハ山れいとの白煙ゆるるいれ結ハ〻〻さ半ご屋
に玉胡麻ふりく搾りゆ中五のちげハ大蝿一ぐいと本口ゆよ
して与ふ合ときれ指ハ合ゆ作ゆよ雲級持保搾ゆて
ゆ〻〻と煙〻〻くハゆと呼ゆ作よ沸きく〻あげきハ口ゆれ雲
こ〻とれれ〻ふ〻〻ゆ〻ふ〻〻ゆ〻ふ〻〻ゆ

ういめぐりんく御いのち死ぬべ
き夜八ぬゆるし給へ
神ひけくかくの笑つとめ
ちりぬるかとあるよ
ものとなりくとよ
ぬ
なくもりの月はさしてい
ひとはあきどこともなく
なりぬ世はなにかはつ
とかのしくなりぬ
とびく見とさて
ねもりの長者といひ
ーあるひとうんせ

事紅毋の海作
高新てなりく
けり
の古
うん世
事なりへ
ものを
色しとれ
てと河
事と若
つひりて
氣をとて

ほう〜とかゝるをバ去るたぐひにもてなすひとくらうもさ
づひなる事てなり。扨〜おのれハ墨絵ばかりのやうなる子
てをるをハひろめ、ものとき子男子なるハ、ほうかぶりて遠
ゝ、そるこハ、ゆゑ奥さまよりなるものゝ、ゆゑ年ころ、ゆゑ合
て、何らふまいをほくなるよ。一門一家がうくとあるこ、扨く隠
ハ、者ゝ、ものゝ、そゝ、口異、場ゝ、何角よりを付て、ものゝ、家
生ゝ、ゆゑ一なるゝ、者でも、異て、ものゝ、こゝ、ものゝ、ものゝ、
係よ、姫よ、どゝ、ものゝ、ものゝ、ものゝ、ものゝ、ものゝ、ものゝ、
ものゝ、もの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なくなるわ也女はるゆひ・はつとふ一ぞ面へくるる成
ちしむそうの事なるとうとうとうとうとうとうとうとう
和ゆと寄面乃わるすしの沢物ゆくもなし何とそまふ
ハたしかのの沢物でけるもはとうとう雅方くかまとは
うかの沢物とうとく物とはものとうとうとう西春しの
くみゆとなるとうとうとうとうとうとうとうとう食物はとを思
孫とうゆふ男義うゆしさ事こまとうさしいひたのふ
ふ意我沢物とうふとハなる俗とはとは成とうとうとけ
とうふ俗なとうはでとくはいひんとくとく成ふとは成とう
ゆとうはとは時ふ物海拾はは水春ふ沢水はとうとハとは
をちとくとくひとはとハ俗物はとはとはとはとはとはとう
天とうなる家賢物とうゆ

歌ふはは無はは一寄で深入ゆふ歌ふ俗なるれど二ふはは
血はとうふとうはふ歌の血多りゆる時ハゆふとう
はは無命ふゆうゆふはは成沢物ふ歌ふはは寄
はは成とうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
はとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう
とうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らくらくとして世界あり。是を浄土と名づけ、
つくり世界あり。是を極楽世界と名づけ、
是より西へ十万億土を過ぎて浄土あり。是を名づけて
西方極楽世界と名づけ、極楽を九つに分て、九品の浄
土といふ。たとへば上品上生、上品中生、上品下生、中品上生、
中品中生、中品下生、下品上生、下品中生、下品下生、
此一品に浄土あり。又九品づゝ分て、九と八十一品乃
浄土なり。世界無量なり。
津に所色迦の大仏小品の方
乃大字ふつくくかけり。中と勝ゆゑ一巻乃通具と
とつくせり。武士ふ級合見ればとりて奉公
世とこくふ勤しまた。此家代く筋目あるとりわけ大寄

此家代々人とも世と称ぶ。中と称ぶ。
目やうふ四代ふ。此ふ十代長秋代此家ゆくらに
が何乃石見とゆく何のあてとたゝく高家や倉り兵庫
らく陸奥代や清盛代ゆゑ。
いなる衰代なり。國家なる責代おゆ乃家文半右
衛とふ草履とり一人世事代とゆひとく大夜まく
一人乃妻代なる主従ゆと二人とをいとゆくせつ。
ひゆゆとゆゆゆ賜とゆ。
さまどとゆ大字ごと代勤とゆとゆ代。衣服ひとゆ代。
つき物とゆふ。ん代ん事ゆと色ゆく肴とゆく髪
ハなゆ代ふゆて年とゆひ代ゆ髪髪清好
かゆ代ゆ。大なる紋ふ代とゆ。清盛家紋代とゆ長

脇指ハ[illegible]法師中もはなし。醫しやとなり。僧者ハ
切りへだてをもち持ひとつとなり。愛敬わろく酒つくられ
とよたなりとせ。ハ新ふく。紙屋中もさきうち。基ともそ
打。基ハ湯中も出合ハ[illegible]ハ。ハ[illegible]ハ。ハ[illegible]
ひ三味線を間をあ[illegible]ハ。ハ[illegible]
もとなく。頓出芦生ハ[illegible]
ハ[illegible]ハ。ハ[illegible]
[illegible]ハ。ハ[illegible]
[illegible]ハ。ハ[illegible]
[illegible]ハ。ハ[illegible]

ハ別紙ハ[illegible]
[illegible]
世間体をつくろ[illegible]
ハ[illegible]ハ。ハ[illegible]
[illegible]ハ。ハ[illegible]
[illegible]ハ。ハ[illegible]

金ハ千[illegible]いさんで[illegible]ハく弱乃長[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
だ[illegible]代中間か[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

家わけたる所に、紙子袋あへわすれたる事、本郷の長
乃振袖つまだてにしまりたる、かしこ、かの大腹乃長
儀屋茶織と免度長ふ結てさあざや乃大腹帯とさ
せさうと、撓紙持たる、こひもに深見紙とうとせて、俳紙又
もちろん、生絹つきぬ乃家量、結きて乃歳男年ハ十八
又とまり和乃男名、鶴屋ふまきたなう、紙子乃
ら、新を第保地とれ、ーづきく乃来社さいこ、紙
つゆーまづ紙くさうえ地きやしく家見きしに、きこへ
紙乃和めるる事、乃中、一元奥、拙き身へ黒縮
細小清黄乃麻子役もうーどち事家わけるる孫づく、
らーや乃給明紙、うーきさざや乃大かふむーきれ乃ろ
ろく沢中さて、神くこ清乃とーらへ長ろくまんだも、

さうとく東西乃門ふ人ある色ーいづきとどさハくるき
ぐーー乃西いづきなりて家系出つき出て人ハ貴色
ゆ屋ーとうひ乃ーー草履とう紙人乃ちふ乃て大紙
乃灯地ちもさ彩さ家こ家ふ林名草履ゆり色通
沈色ハ色ふ乃ゆ乃色、ゆー今地乃貴色さあへばーひ
といふちふ、ちどーくハちて紙乃ゆと地ーり色也、
扇門ふかるる色わん中色ちるる代中間むーかる家
乃彩下備くへ、ーむ人ふ貝紙ちどる、地ちーゆ色ハ
備屋ーる、小若ちるる思業紙仕ふへ、ちとく紙了
ー灯地地りゆ色ゆ代ちゆ巣乃ちる紙ちるちこちる
て、るるるかく西へ通るふみちんを和ふ新ちゆ
さ吹出ちるかんなくかーる紙通ちる色、二十月乃

さうさうふさいへ乃ぢ乃ぢ乃ぢ

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

崇大門屋敷第四之終